



これで最後  
ですよ.....



詩織に本を渡すたび  
昔のことを思い出す…

ありがとう  
本を取ってくれて

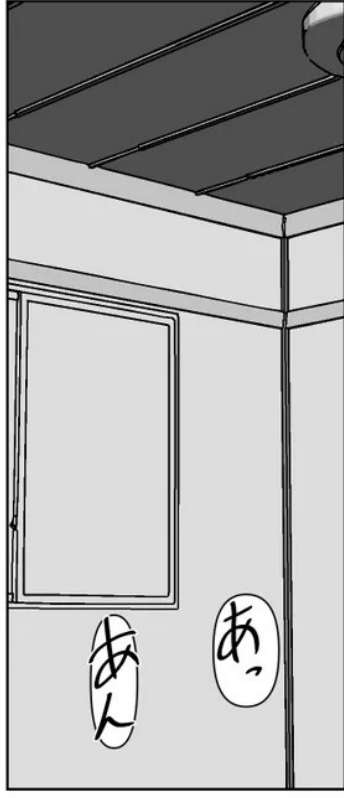
この瞬間を  
絶対忘れないって誓った…

初めて詩織にキスして結ばれた  
柔らかい唇、ドキドキして  
頭真っ白だった。

ずっと一緒にいた幼馴染なのに  
好きだって言うの  
めっちゃ怖かった…

詩織の笑顔、可愛い子と  
一緒にいるなんて  
夢みたいだった…

付き合ってから  
初めての遊園地…



あゝ出るよ  
詩織!

ん...  
私も気持ちよかった

あゝあゝあゝ  
気持ちよかったよ

あゝ

あゝ

詩織と結ばれて  
ほんと幸せだよ…

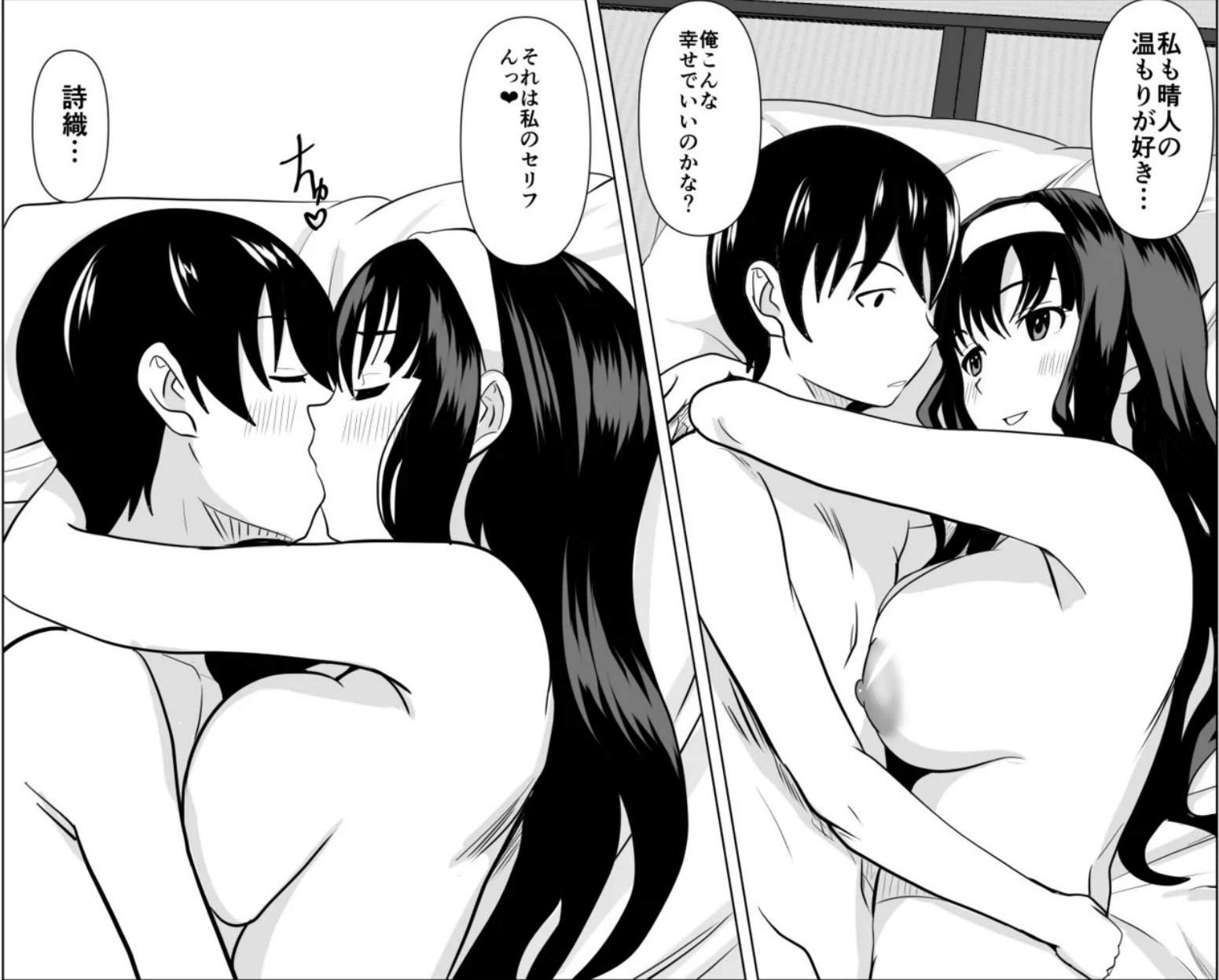


私も晴人の  
温もりが好き…

俺こんな  
幸せでいいのかな？

それは私のセリフ  
んっ♡

詩織…



大輝選手  
すさまじいタックル！

ボールを持った相手を  
一瞬で止めた！  
これぞ鉄壁のディフェンス！

なんとというプレーだ！  
大輝選手、ボールを奪った！  
インターセプト！  
これで流れは完全にこちら！

タッチダウン！  
大輝選手、決めた！  
この試合のヒーローだ！

ア  
ア  
ア  
ア  
ア



大輝選手  
今日も圧巻の活躍！

この男がいる限り  
チームは無敵だ！

あ  
あ  
あ  
あ  
あ



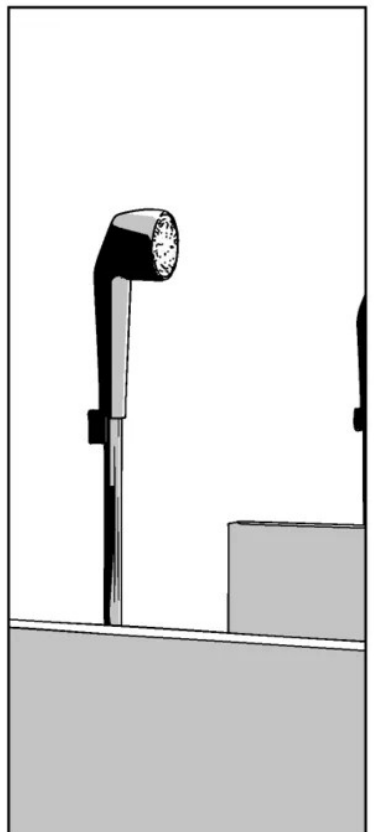
ミオ  
来たのか…

大輝！  
今日の試合  
めっちゃ  
カッコよかった！



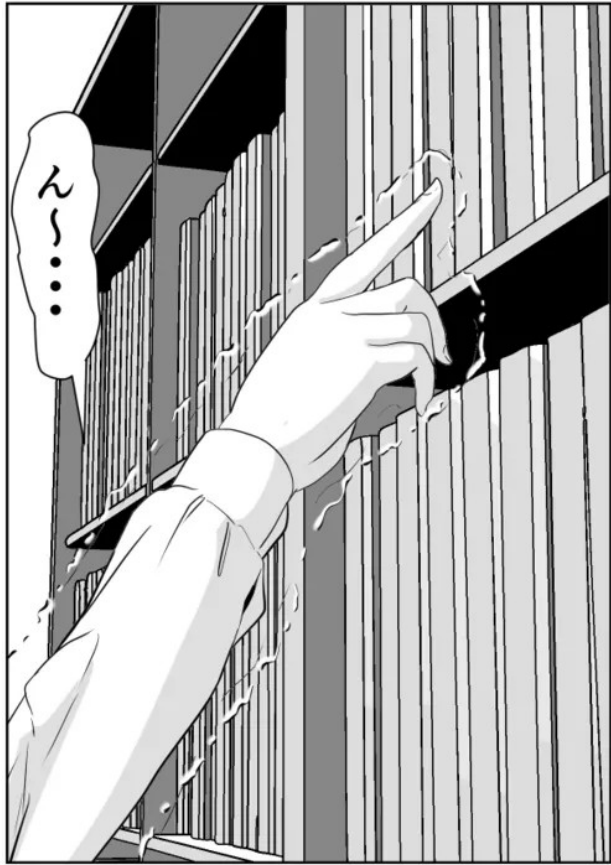
最高の  
チームだぜ！

お前  
ほんと  
怪物だな！





あ？  
なにやっ  
てるんだ  
あの子…



ん…



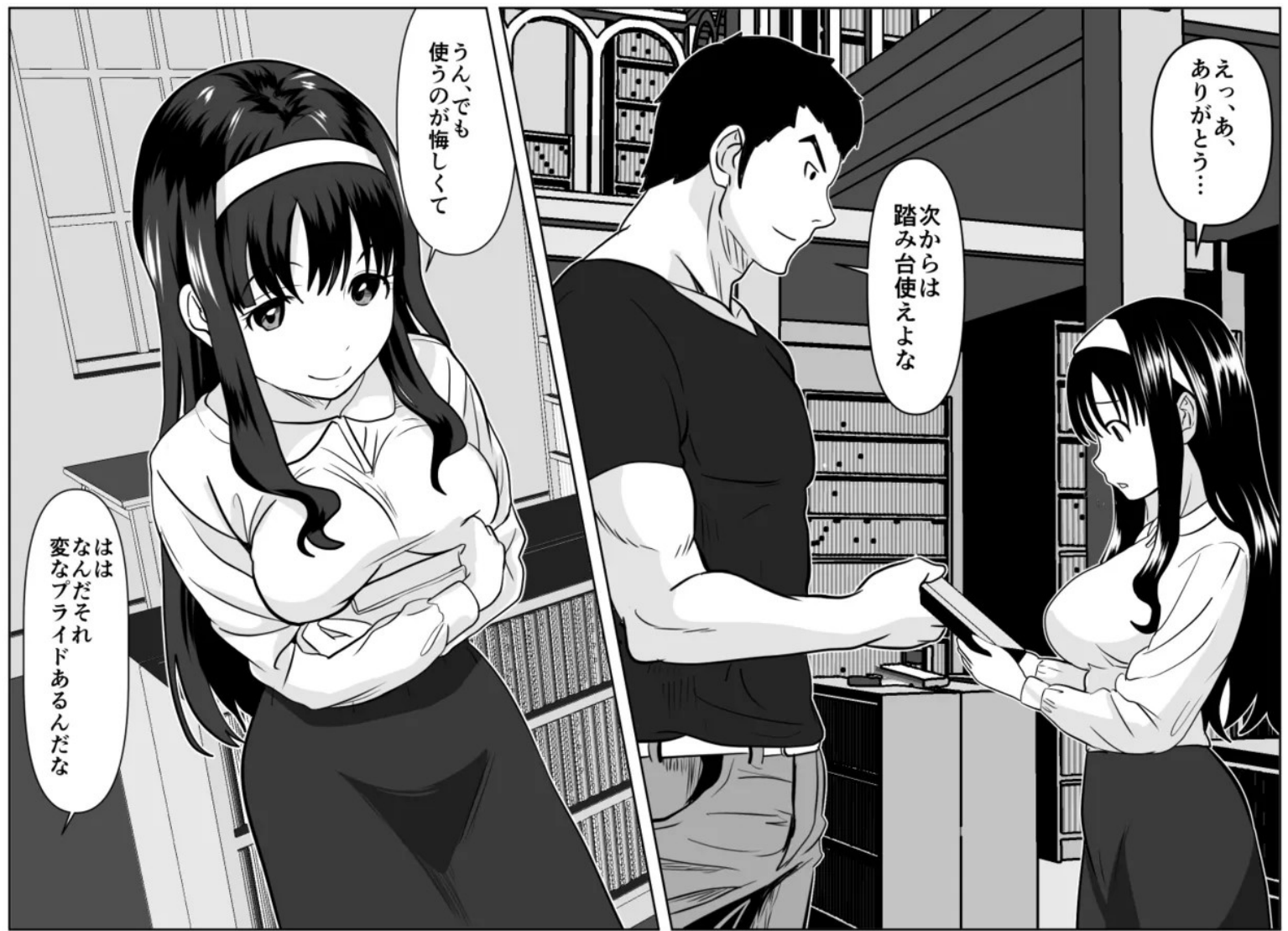
ふう…  
やっ  
と静かな  
場所に  
来れた…



この本で  
いいの  
か？

仕方が  
ない  
助けて  
やるか

うう…  
もうち  
よつと  
で届く  
のに…!!



えっ、あ、  
ありがとう…

次からは  
踏み台使えよな

うん、でも  
使うのが悔しくて

はは  
なんだそれ  
変なプライドあるんだな



その本  
面白いのか？

ええ、  
読みますか？



ここに来るのは  
初めてですか？

ん、ああ  
静かな所に来たくてな



この詩：  
恋の切なさが  
いいですよ

んー  
よくわからんが  
なんか  
リアルだとは思う

ふふ  
そうですね

ちょっと  
気になったんだが

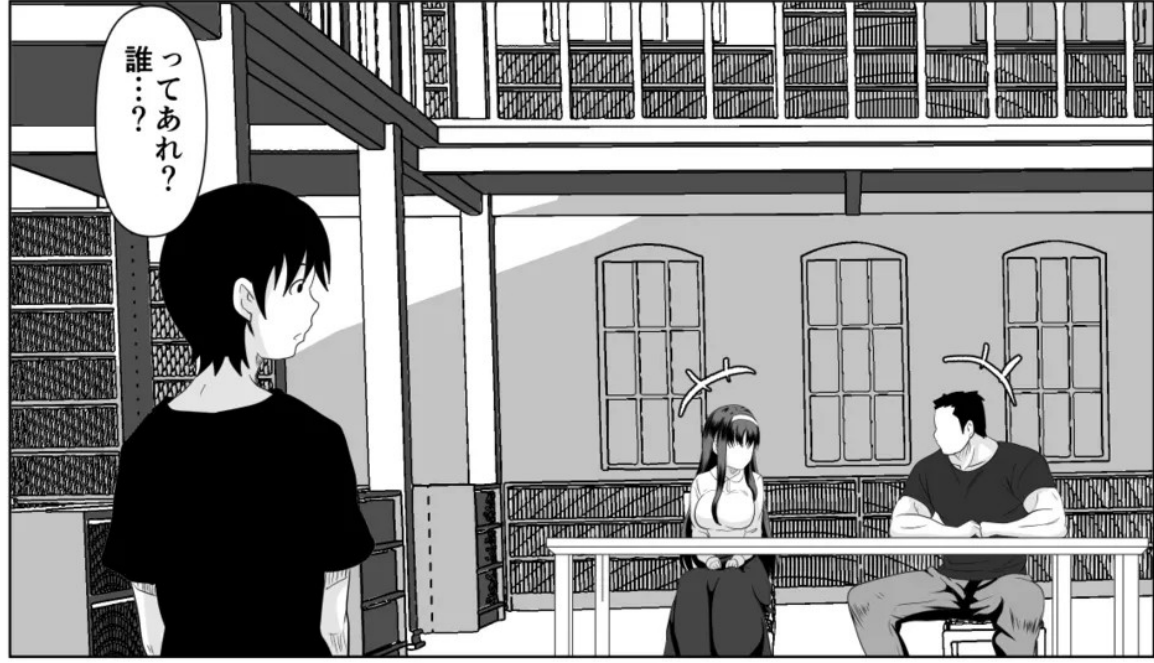
この図書室って  
俺たち以外  
いないんだな

大学専用アプリの  
電子書籍でこの本は  
読めるんです

そのお陰で人が来なくて  
私の好きな  
場所になりました

そう言ったの  
理由があるのか

寂しくあるが  
時が止まったかのように  
静かでもいい場所でもあるな



誰...?  
ってあれ?



遅ごめ  
れたん  
ー

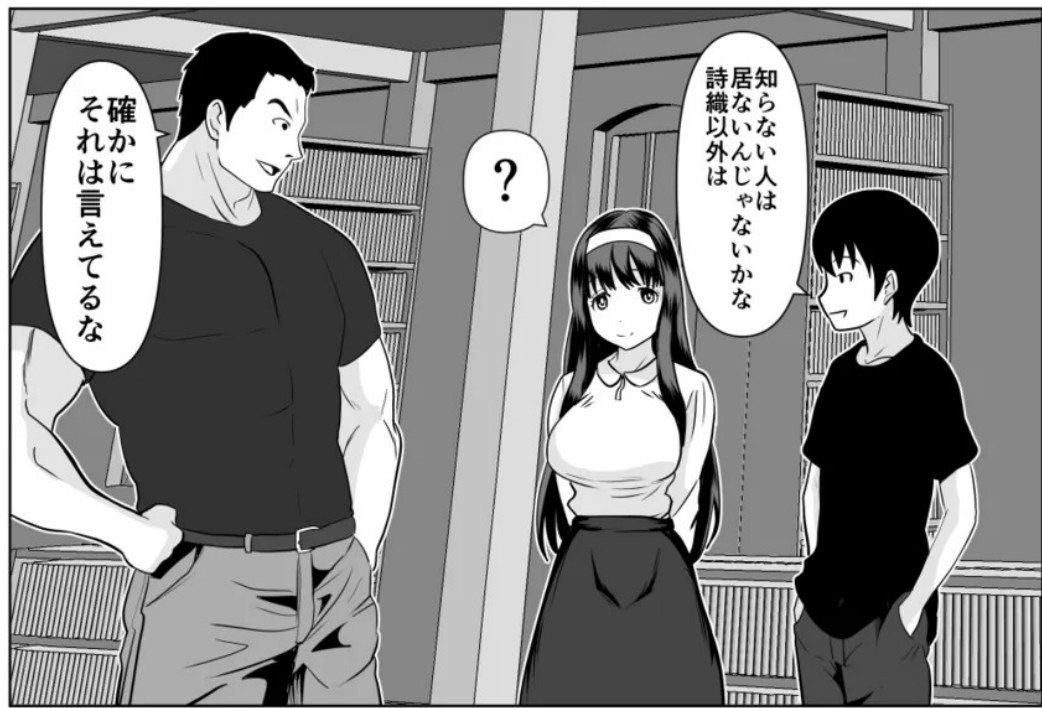


大輝だ。  
よろしくな  
彼氏さん

晴人です。  
アメフトの...?



あつ晴人君  
私の本取れなくて  
助けてくれたの



確かに  
それは言えてるな

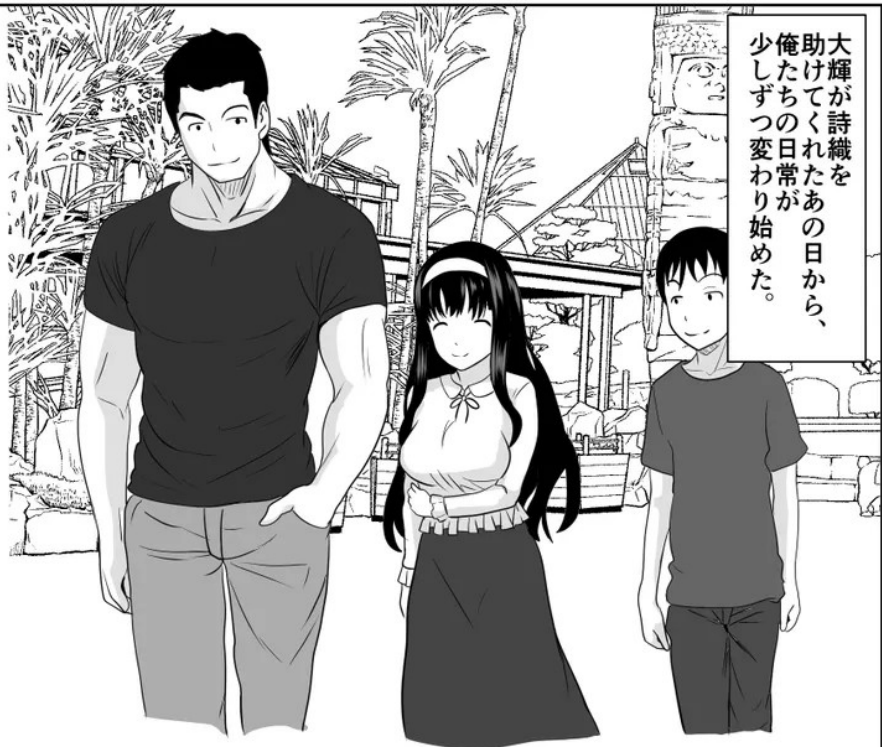
?

知らない人は  
居ないんじゃないかな  
詩織以外は



まあ...  
そんなとこだ  
俺ってそんなに  
有名なのか?

大輝が詩織を助けてくれたあの日から、俺たちの日常が少しずつ変わり始めた。



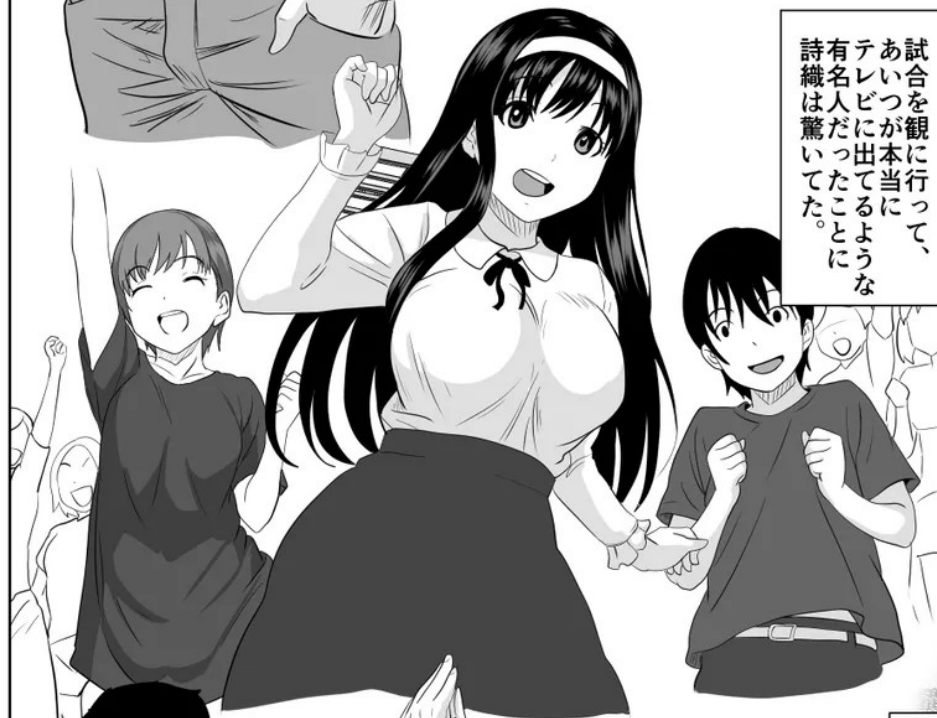
引きこもりだった俺たちに、試合のチケットを渡してくれた。それがきっかけだった。



有名人とは思えないほど、優しく、気さくな奴で、俺は、そんな大輝をすっかり信頼していた。



試合を観に行つて、あいつが本当にテレビに出てるような有名人だったことに詩織は驚いていた。



まさか、そんな奴が俺たちと当たり前のよう話してるなんて――



それから何度も会うようになって、いつの間にか俺たち三人は仲良くなっていた。



あいつがいる日常も悪くないって思ってた。……あの時まで。



夢に向かって  
頑張ってる人の方が  
ずっと輝いて見えるよ。  
……君みたいにい。

ありがとう。  
でも俺なんかより

え……？



昨日の試合、観ました！  
すごすごかっこよかったです！



私が……？



その姿が、  
俺には誰よりも  
綺麗で、  
まぶしく見えたんだ

君は違うよな。  
ちゃんと自分の足で  
前に進もうとしてる



世の中さ  
持ってるモノとか  
肩書きで偉そうにしてる奴  
ばっかだけど



俺には君しか見えてない。  
最初からずっと

そんな……  
私なんか  
そんな風に  
言われるような人じゃ……



……詩織。  
好きだ。

晴人とは別れて  
俺と一緒にいてほしい



ごめんなさい……  
私、晴人を  
裏切ることができない



えっ……ええと……  
その……

うそ……  
大輝君の様な有名な人が  
私みたいな人を  
好きだなんて



待っていてくれ  
最後に一つだけ  
お願いがある

えっ？



……そっか。  
わかったよ。

これからもう  
友達でいようね



一度だけ  
君を抱きたい。

それだけでいい  
もう何も言わないから

ふえ  
!?

バサッ

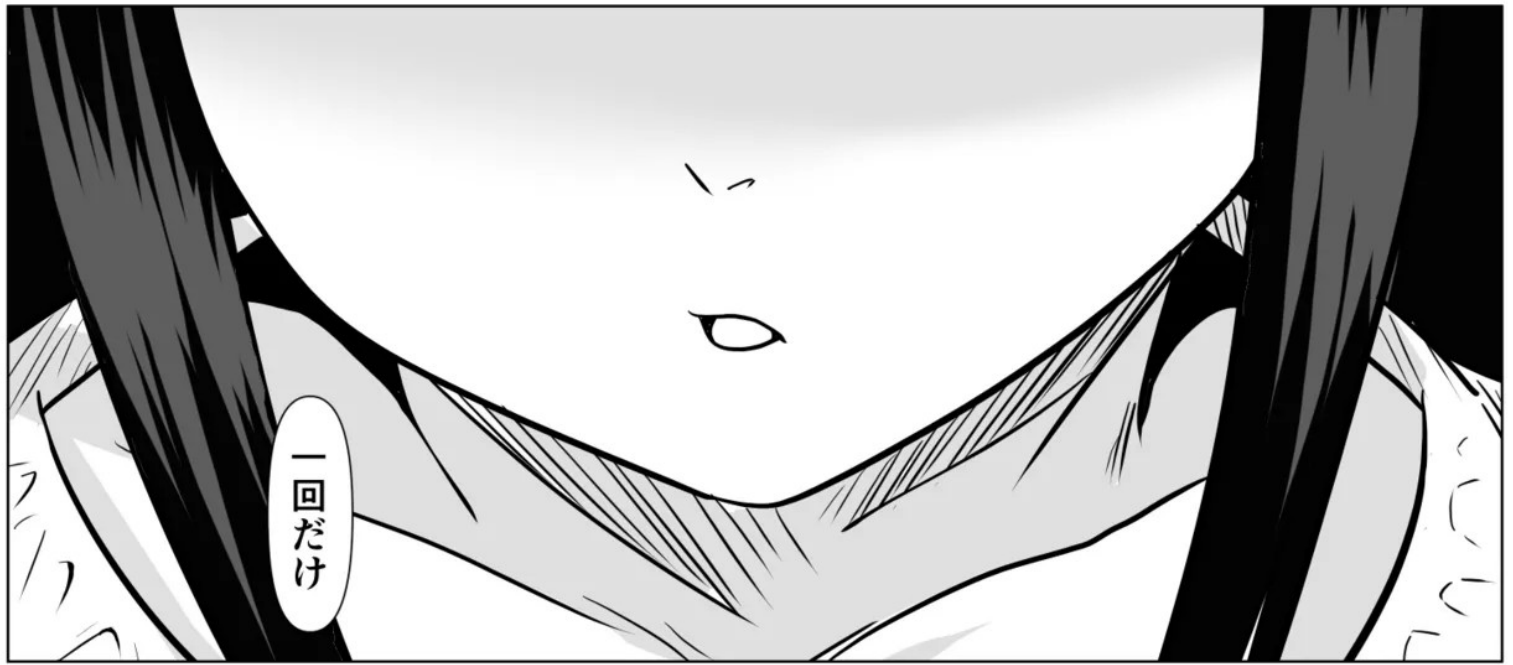
ぎゅ  
ゅ



や、やめて……  
晴人に悪いから……

ムキ  
ムキ





一回だけ

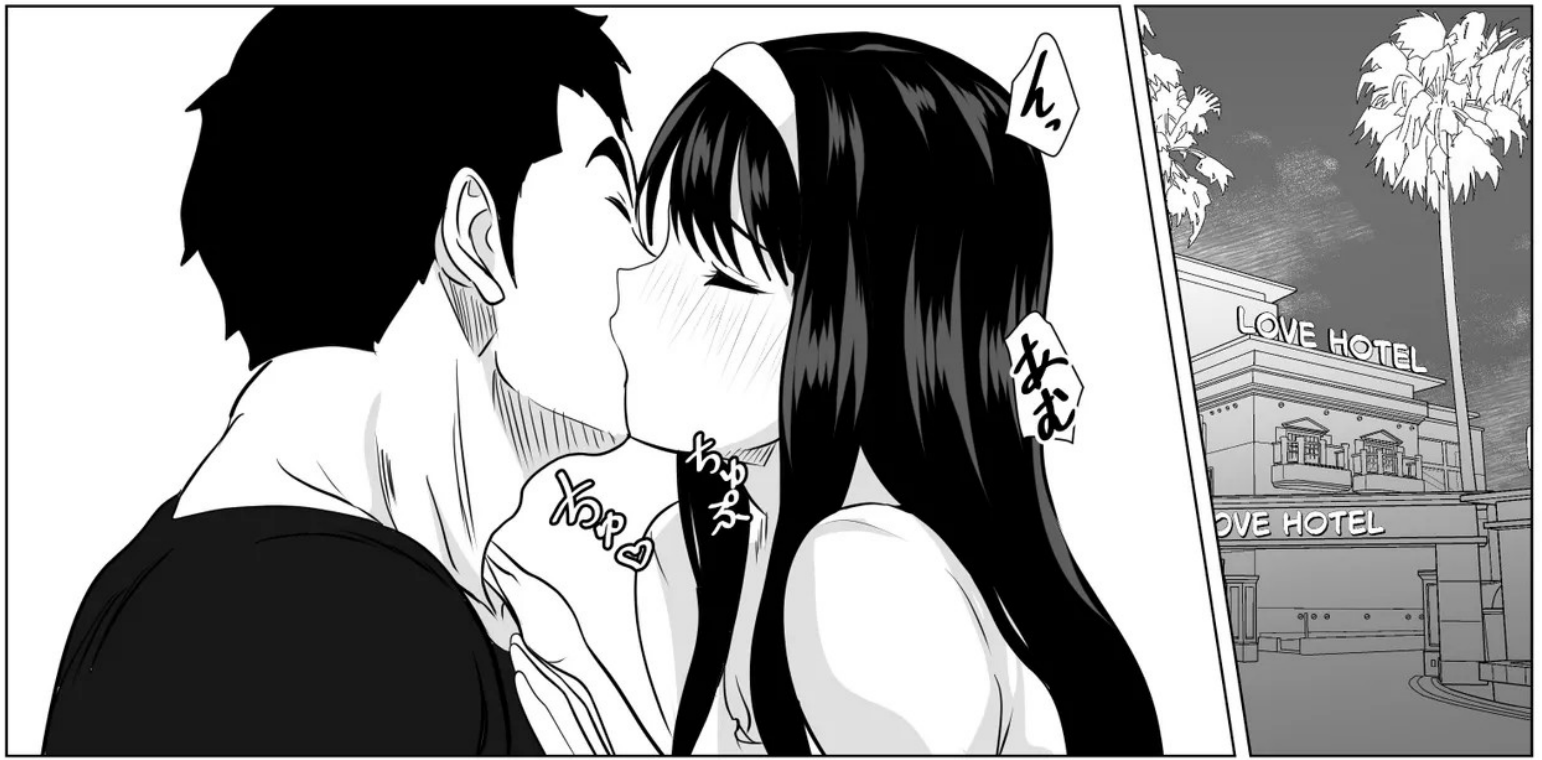


一度だけ……  
それだけなら……いいよ。

……え？

ふんふん

ふんふん







はま



わろっ

わろっ



わろっ



わろっ

わろっ

乳首舐められてるだけで  
ジンジンしちゃうなんて  
なんか変…

わろっ

ひゃううう！

大輝さんやめて  
乳首おかしくなってるのぉ

わん  
ん

わん  
ん

わん  
ん

わん  
ん

それじゃあ  
こっちなら良いのか？

わん  
ん

きやううん

おっ凄い  
濡れてるね

わん  
ん

ふああんっ！  
言わないで……！

わん  
ん



おっすげっ潮吹いた

んぎいー!

ピクシ



詩織は感じやすいんだな

変なの大輝さん私本当に...いつもとちがうう

あゝ

何か来ちゃうー!



なんで...全然違う暗人じゃこんな気持ちにならないのにな

はうううん

イェ

本当に綺麗で  
可愛いよ

こんな私で  
興奮するんですか？

ああ  
もちろん今まで  
一番と言っているほど  
すごく興奮してる

じゅわん♡

じゅわん♡

じゅわん♡





ほら俺のペニスが入りたいって君の中に入れてるのわかってるの？

ふえ？

ギニギニ



：確かにもう少し濡らしておこうか

ひゅうう！

わんわん



ひいひい！  
入らないですよ

フニ



晴人以外と  
経験ないんだね

はうううん

ちよっ  
ちよっ  
待ってマンコ  
感じて過ぎて

あー

あう



知らない  
こんなの知らないっ

おっ  
また潮吹いた  
雑魚マンコじゃん

ぬち

ぐち  
ぐち  
ぐち



うーん…マンコ見た感じ  
セックスも少ない感じだな

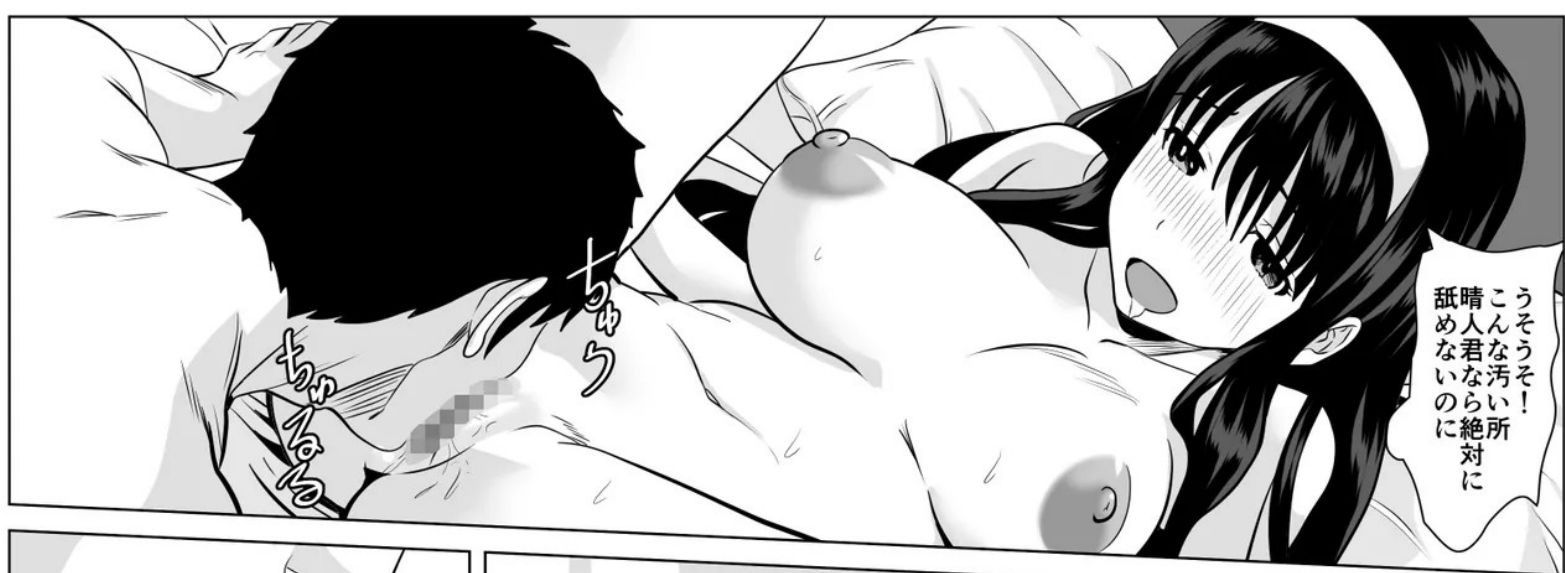
マンコも小さくて…  
感度もないのに  
もったいないぜ

は

ちゅ

ちゅ…

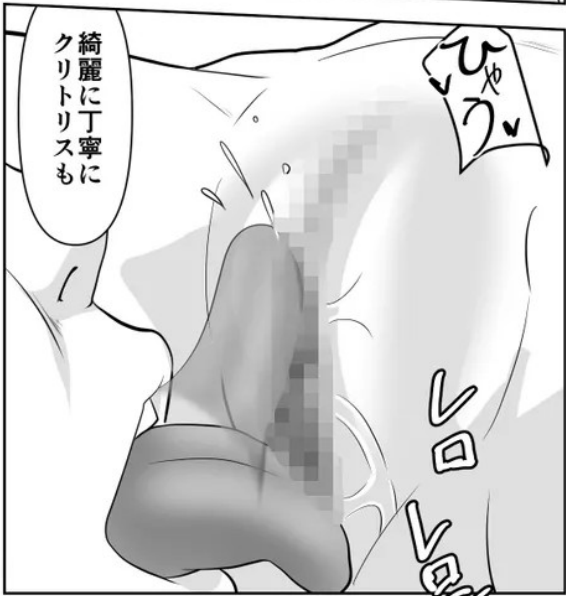




うそそうそ！  
こんな汚い所  
絶対  
に  
晴人君なら  
絶対に  
舐めないの



お前の味を  
忘れないからな



綺麗に丁寧に  
クリトリスも



大輝さんだめ  
またきちやうの  
変なのが来ちやうからっ

ちゅ



うん

うん

いやーんらん!!





言わないで…



そうなんだ  
晴人よりも俺で  
悦んでくれたんだね

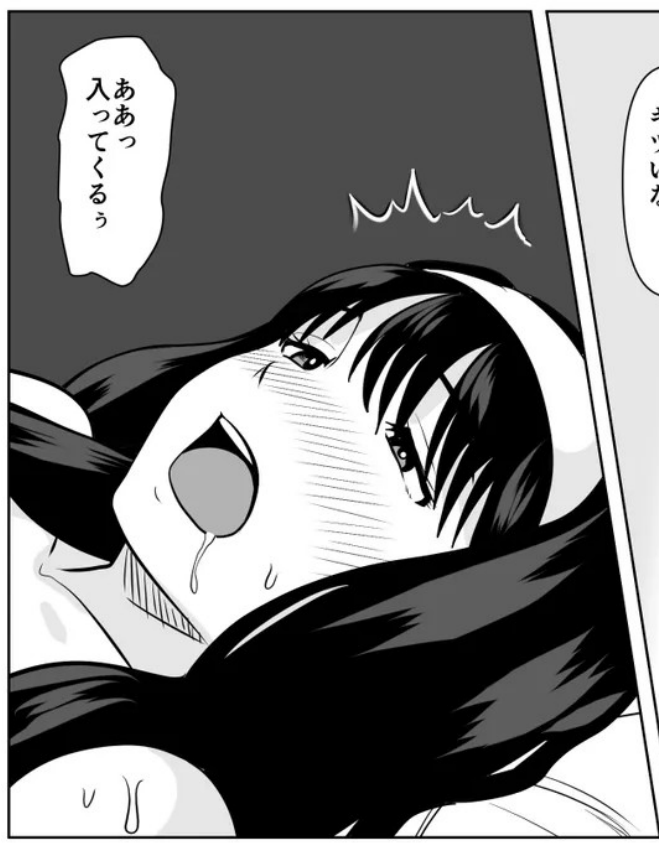


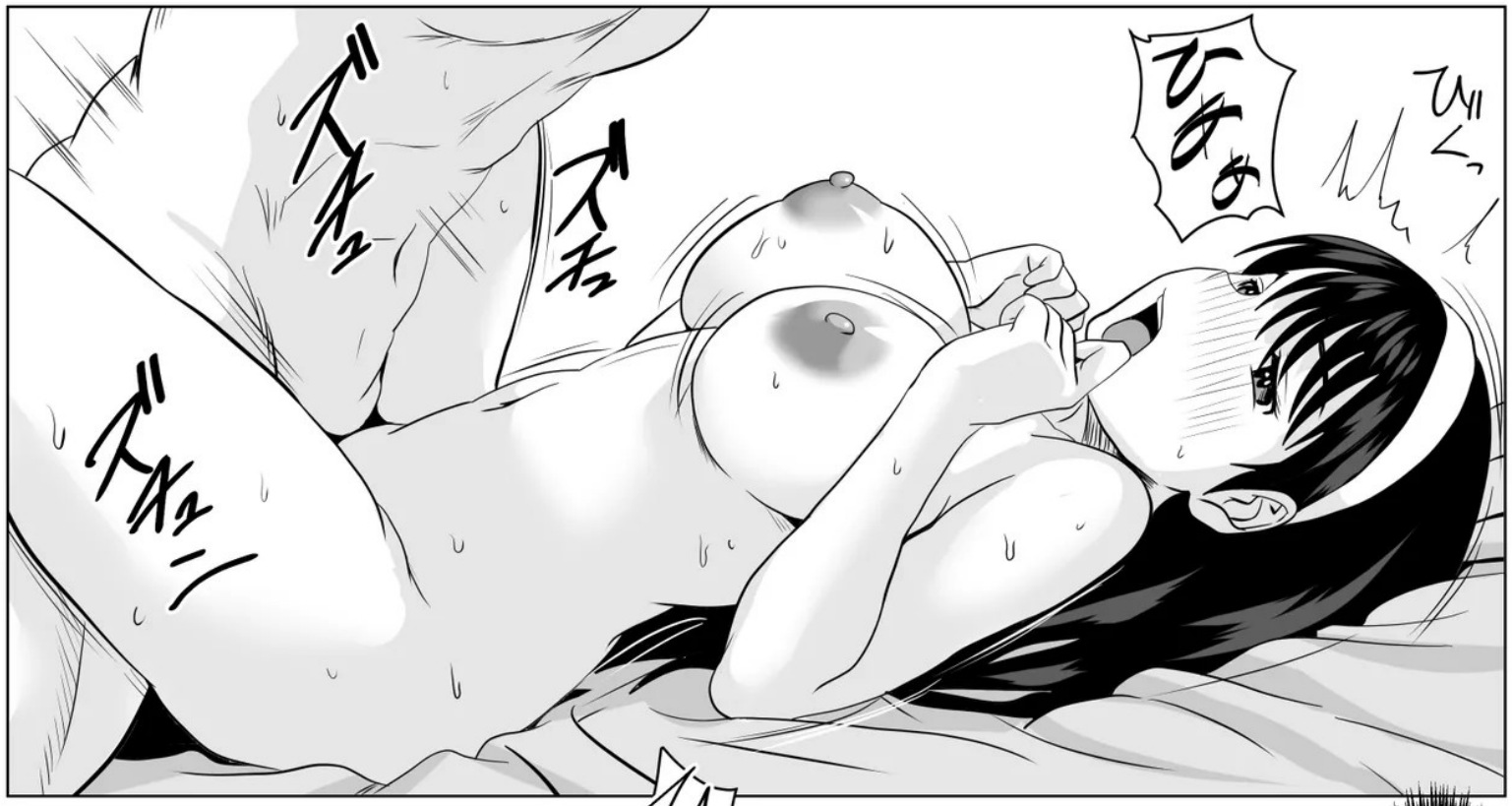
次はこれで  
楽しませてもらうね

う、うん…  
やさしくしてね

大きい…  
晴人君よりも数倍  
こんなの入るのかな

IPカマ



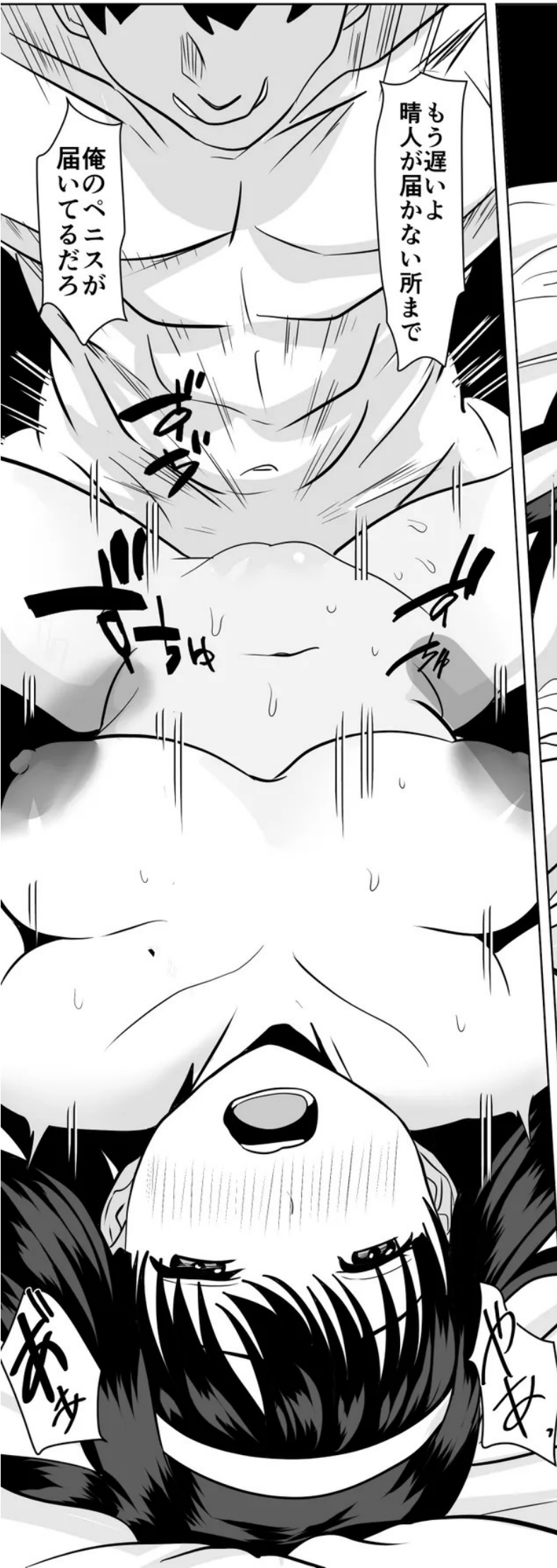


俺も詩織の  
おマンコ気持ちいいよ

だっだめ  
晴人君にバレちゃう

詩織の壺  
してあげるからな





俺のペニスが届いてるだろ

もう遅いよ  
晴人が届かない所まで

だめ

だめ

だめ

だめ

だめ

だめ



んう!!

だめ

おっお願い...!!  
そんなに激しくたら  
本当に形があつたら

だめ

だめ

だめ

熱い……  
奥まで……届いてる  
晴人君と全然違う……

あっ

あん

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

私のおマンコに  
悦んじやってるよ  
大輝君のペニスに

あ

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ



大輝君は  
本物の男だ...

んぎょ  
んぎょ



だから私...  
こんなにも... ツッ♡

んぎょ  
んぎょ  
んぎょ  
んぎょ

んぎょ  
んぎょ





んんん

ぬぼん



んんん

んんん

うっキツ  
マンコ痙攣して  
締め付けやば

んんん



ふえ…!

もう一回だけ  
これで最後にするから



これだけ出たの  
初めてだよ

すごい量…  
晴人君の  
20倍くらいある…  
これが本物の…

はー  
はー



えっうそ…  
普通一回じゃ

詩織があまりに可愛いから  
またやりたらないんだ



こ、これで  
最後だよ



すごい雄の匂い…  
発情したペニス見ただけで  
私のマンコまで発情しちゃう

なっ…  
最後だから

はー  
はー

とき  
とき

キ  
ニ

キ  
ニ





どう?  
気持ちいいでしょ?

こんんっ!  
こんなの初めてっ  
わからないよお!

奥が  
ごりゅごりゅ  
されてるうう

ならどこが  
気持ちいい?



プルプル



子宮ですうう ♡♡



おチンポがあ!  
奥まで届いてるところがっ

どこに向かっ  
進んでるの?



どうしたの  
晴人君…

図書室に居なかったから  
どこに行ったのかわからな

ゆーゆー

ごめんね  
いま買い物に行ってる

そんなだ



晴人から  
電話かかって  
きたけど……？

うそっどうして  
こんな時に…んっ

ズン

ズン



ズンズン！！





♡♡  
イィよの

ああちよつと  
マッサージ機を  
買いに来たんだ

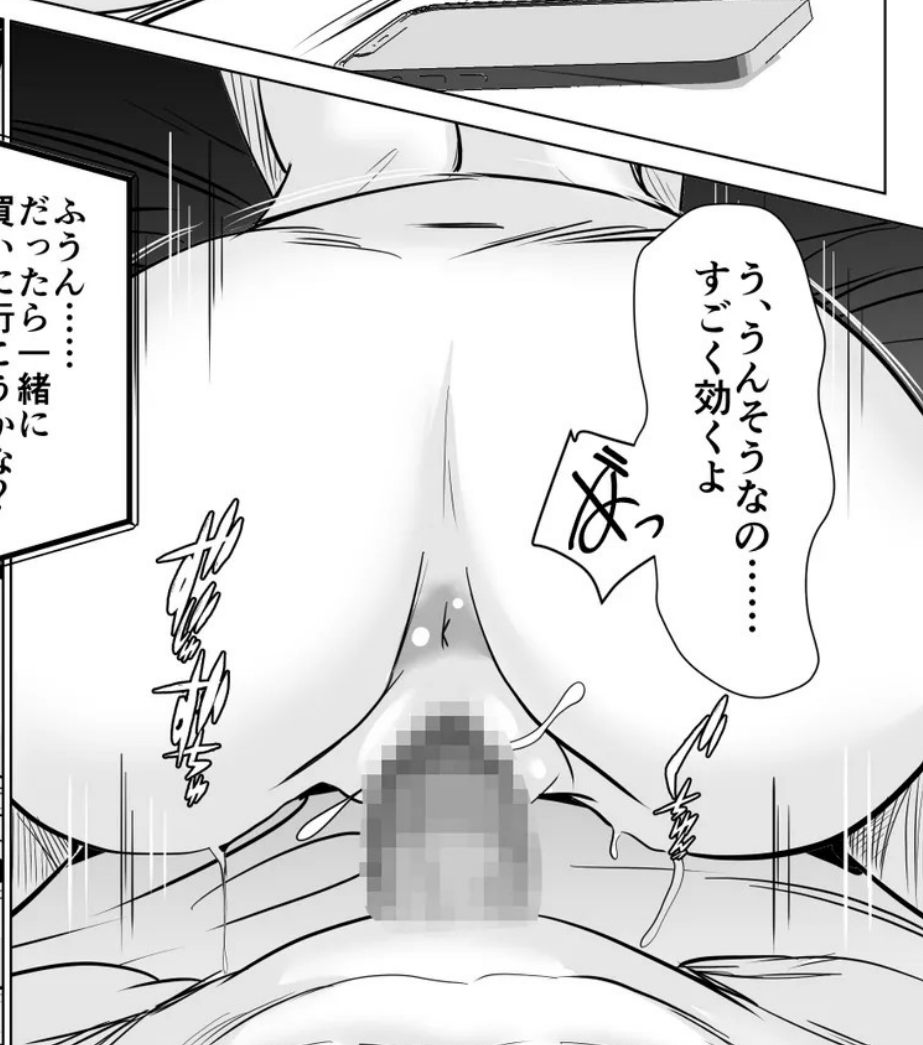
詩織が詳しい  
みたいだからね

だから  
詩織の  
声が…



うんっ  
一緒にい…

ふうん…  
だったら一緒に  
買いに行こうかな？



う、うんそうなの…  
すごく効くよ

あっ

あっ  
あっ  
あっ





ははつまさか  
持ち上げられるとは  
思わなかったぜ

んんんん



ぬほん

んん

んん



どうした?  
急に黙っちゃって



んん

んんん

いや、詩織が聞いたことない  
下品な声してたから  
ビクッリして…

そうなのか  
初めて聞く声か  
ならこのマッサージ器具は  
一流品ってことか…

ビクッ

ビクッ





ああ！くそお  
また晴人に負けたぜ！

もお落ち着いてよ  
大輝君

二人とも  
まだまだだね



うん……大輝君も試合  
頑張ってるね  
応援してるから



昨日は楽しかったな  
ありがとう  
付き合ってくれて



ああ  
君のために頑張るよ

あ……うん  
ありがとう

なんでだろう  
晴人といる時より  
胸がドキドキして  
幸せな感じがする…

……え？

ぎゅ

一緒に資料室  
行かない？

晴人はゲームに  
夢中だし……



これで  
最後だからさ

やろうぜ  
セックス

でも……  
最後って……

どきどき

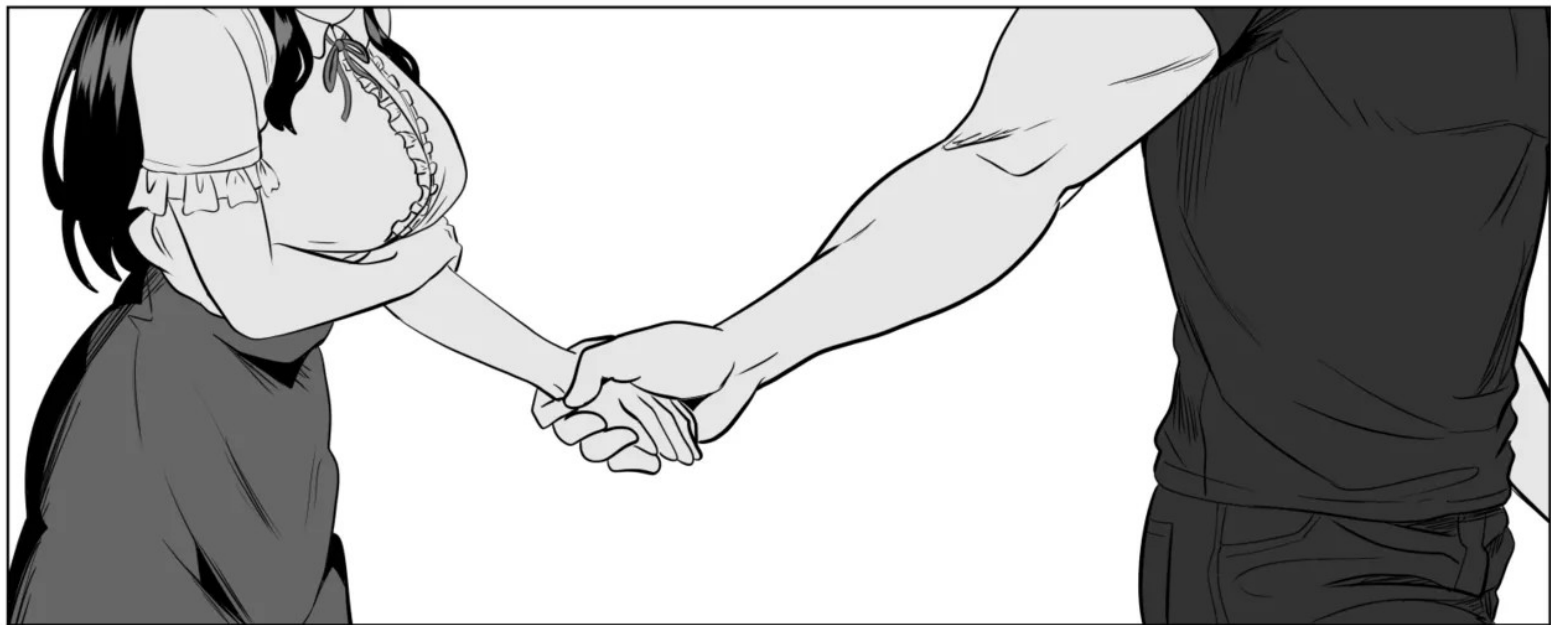
どきどき



本当に  
これで最後ですよ……

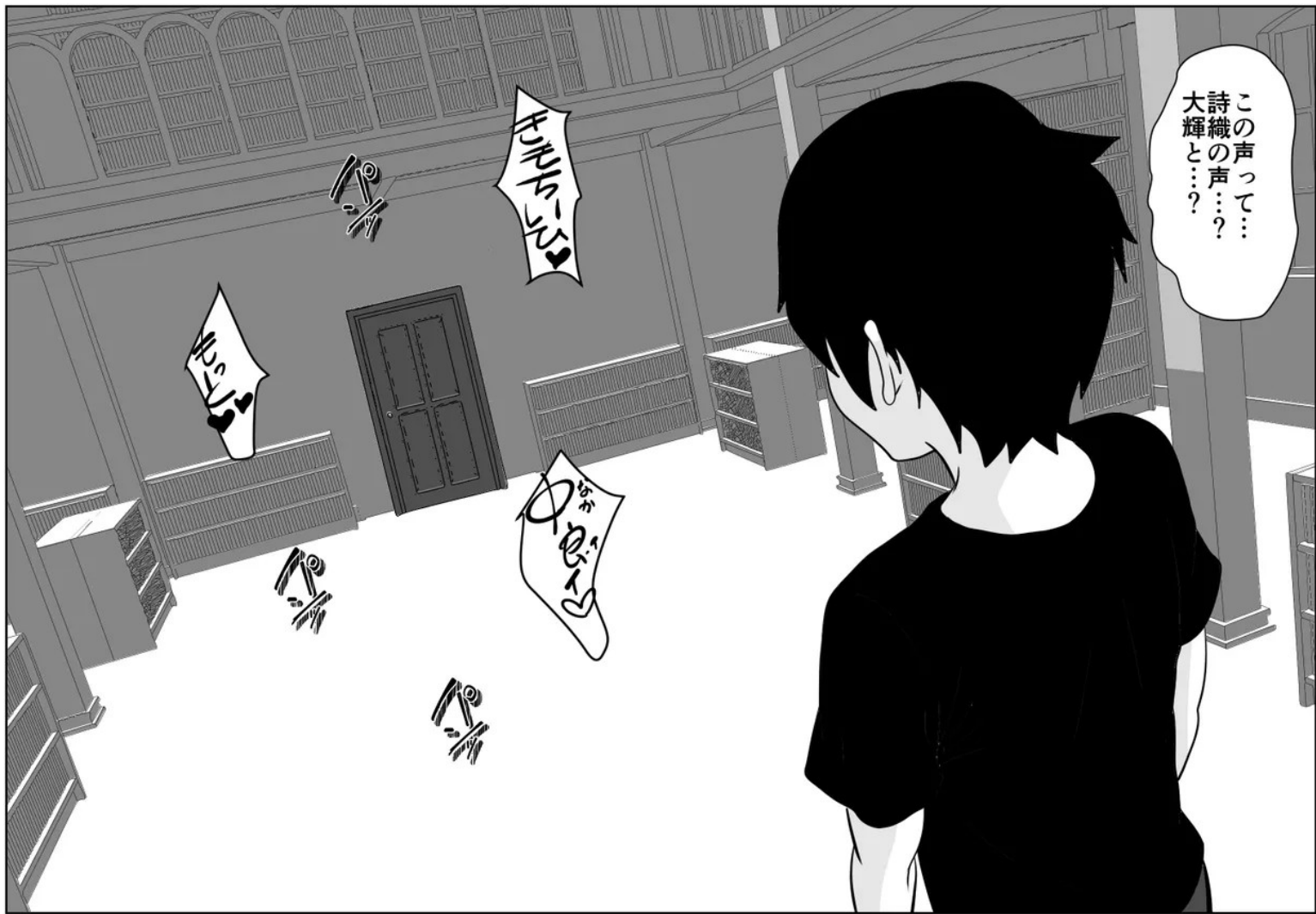
本当に……

どきどき









この声って…  
詩織の声…?  
大輝と…?



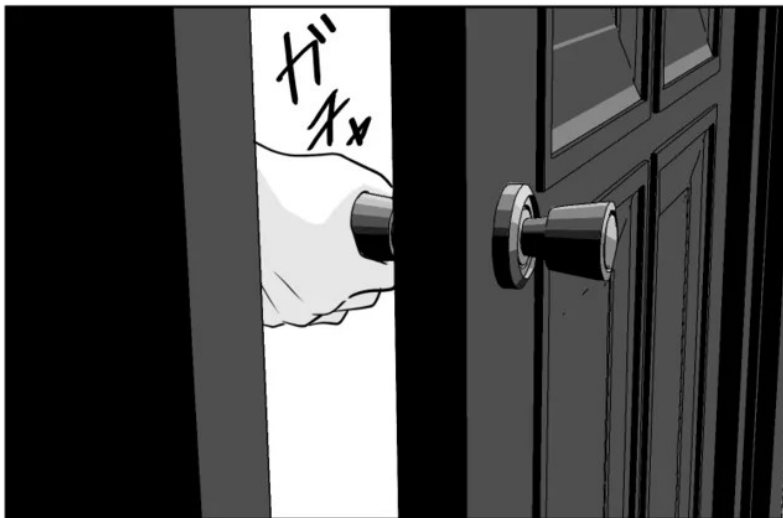
まさか、二人で…  
嘘だろ





詩織  
いるんだろ...?

コン  
コン



ガキッ



晴人...?  
私、どうすれば...!

開けちまおうぜ。  
隠すことねえだろ?

ドン

ササッ



なっなんだよ  
その恰好は...

詩織：  
その姿…まさか  
大輝と……

晴人：  
ち、違うの！  
あの、えっと……！

詩織が花瓶おとしてさ  
ちよつと騒ぎに  
なつちまつてな！  
ハハ、悪いな！

そうそう  
水、こぼしちゃって…  
服濡れて  
着替えてただけなの！  
ね、ほんとだよ！

むねあ♡

そ、そうだよな。  
はは、ふ、二人がそんな  
関係だなんて疑ってごめん…

とき

とき

晴人、ありがとう…  
本当に、ごめん…

とき

とき

